

# 第6回 中小企業景況調査結果

## 平成17年10月調査

鎌倉商工会議所

- 1. 調査目的** この調査は、鎌倉市内の中小企業の景況を調査、その動向を分析して鎌倉市内の事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2. 調査対象** 鎌倉市内の中小企業特に小規模企業（製造業・建設業・最寄品小売業・買回品小売業・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出する。

### 1 総 合

景気感は6期連続して改善しているが、先行き不透明感が残る。

設備投資はOA機器は小売業と機械設備は飲食業での投資が好調である。

今回（平成17年10月調査）は、業況DIが前回（平成17年7月調査）に比べて2.3ポイント改善しマイナス4.6となった。6期連続して改善した。売上額DIは4.8ポイント改善、採算DIは1.9ポイント改善、マイナス19.7を示した。資金繰りDIは3.6ポイント悪化を示した。

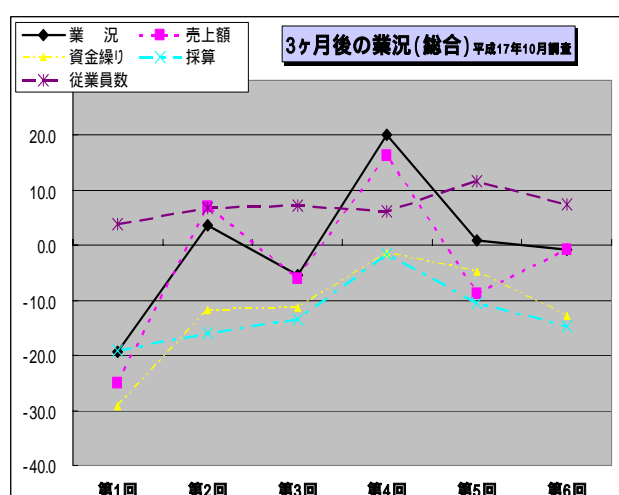
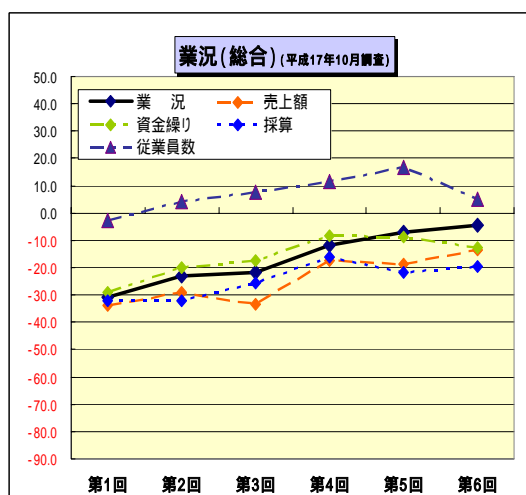
雇用状況を示す、従業員数DIは11.8ポイント悪化しプラス5.1とやや不足の状況を示している。

3ヶ月後の業況見込みDIがマイナス0.8と今期に比べて1.6ポイント悪化見通しを示している。主要3指標である、来期の売上額見込みDIもマイナス0.7と今期に比べて13.0ポイント改善、来期採算見通しDIもマイナス14.8と今期に比べて4.9ポイント改善見通しを示し景気回復に期待。資金繰りDIはマイナス12.9と悪化を示している。

#### ・ 設備投資の動向

設備投資の動向は、OA機器を導入した企業は、サービス業、小売業の最寄品が各2社、建設業と小売業買回品で各1社の合計6社(4.7%の企業)が導入した。・機械設備は、飲食業の6社、小売業で3社、製造業とサービス業で各1社の合計11社(8.5%の企業)となっている。・車輛運搬具は製造業、建設業が各3社、小売業、サービス業が各1社の合計8社(6.2%の企業)となっている。・建物はサービス業が2社、小売業と飲食業で各1社の合計4社(3.1%)が投資した。

来期はOA機器9社（サービス業が5社など）・機械設備5社（製造業と飲食業が各2社）・車輛運搬具5社（サービス業が3社など）・建物5社（小売業で3社など）が投資予定している



業況(総合)		対前年比						3ヵ月後					
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
業況		-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6	-19.4	3.7	-5.5	20.0	0.8	-0.8
経営状況	売上額	-33.9	-29.2	-33.6	-17.5	-18.5	-13.7	-25.0	7.0	-6.1	16.3	-8.7	-0.7
	資金繰り	-28.9	-20.0	-17.5	-8.5	-8.9	-12.5	-29.3	-11.7	-11.4	-1.5	-4.8	-12.9
	採算	-32.3	-32.1	-25.8	-16.0	-21.6	-19.7	-19.2	-16.0	-13.4	-1.7	-10.5	-14.8
	従業員数	-2.7	4.3	7.8	11.4	16.9	5.1	3.8	6.9	7.2	6.2	11.7	7.4
設備投資の動向	OA機器	9	7	7	7	8	6	11	7	9	10	6	9
	機械設備	2	3	3	2	7	11	4	4	6	8	2	5
	車両運搬具	4	4	8	5	4	8	2	3	4	5	5	5
	建物	1	2	0	1	2	4	4	4	4	5	2	5
	付帯施設	4	2	4	3	4		5	2	3	10	3	
	その他	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	

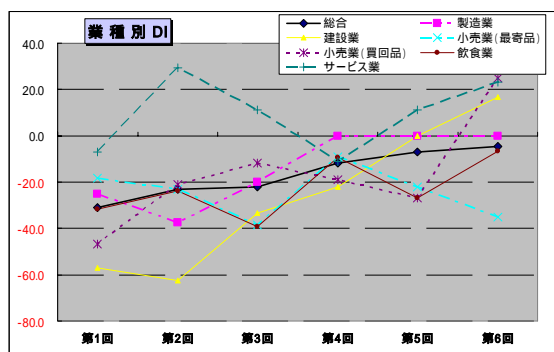
## 2 業種別

### 建設業・買回品小売業はプラスに転じ最寄品小売業・飲食業は悪化している

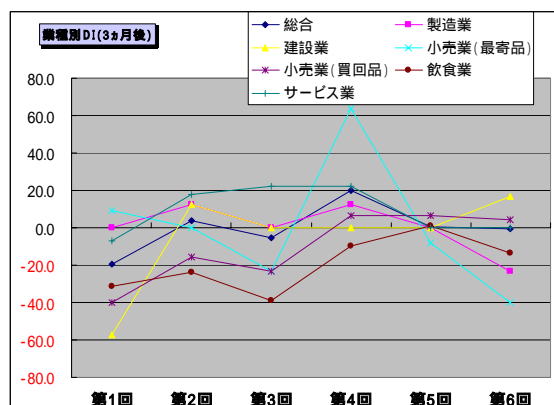
業種別DIでは、総合判断DIのマイナス4.6より良い業種が建設業(プラス16.7)、買回品小売業(プラス4.2)と製造業(0.0)、サービス業(0.0)の4業種で、悪い業種が小売業の最寄品(マイナス35)と飲食業(マイナス13.3)の2業種である。

製造業が3期連続して横ばいが続き踊り場か。建設業は大幅に改善しプラスに転じる。が、先行きに不安要因がある。最寄品小売業は悪化に転じ、先行きに不透明感が強い。買回品小売業は、大幅に改善しプラスに転じる。先行きも改善の期待が大きい。飲食業は、大幅に悪化しマイナスに転じ先行きも不透明。サービス業は、悪化した先行きに期待感を持つ。

3ヵ月後の業種別業況見込みDIは、建設業は33.3ポイント、買回品小売業で30.9ポイントの改善を期待している。飲食業で6.6ポイントの改善、サービス業は23.3ポイントの改善見通しを示している。製造業は23.3ポイントの悪化、最寄品小売業は5.5ポイント悪化の見通しである。



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
総合	-31.0	-23.1	-21.9	-11.8	-6.9	-4.6
製造業	-25.0	-37.5	-20.0	0.0	0.0	0.0
建設業	-57.1	-62.5	-33.3	-22.2	0.0	16.7
小売業(最寄品)	-18.2	-23.1	-38.5	-9.1	-22.2	-35.0
小売業(買回品)	-46.7	-21.1	-11.8	-18.8	-26.7	25.0
飲食業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	-26.7	-6.7
サービス業	-7.1	29.4	11.1	-11.1	11.1	23.3

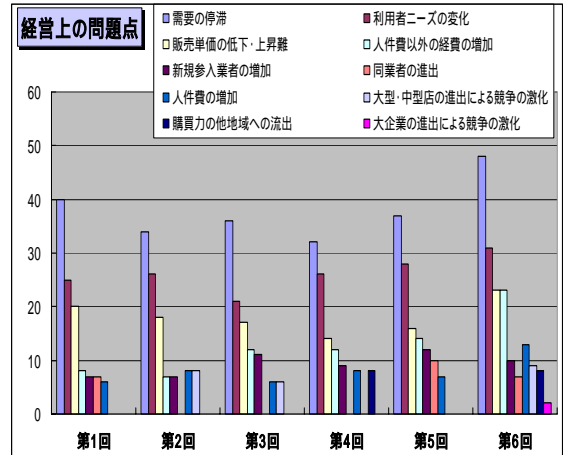


	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
総合	-19.4	3.7	-5.5	20.0	0.8	-0.8
製造業	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	-23.1
建設業	-57.1	12.5	0.0	0.0	0.0	16.7
小売業(最寄品)	9.1	0.0	-23.1	63.6	-8.3	-40.0
小売業(買回品)	-40.0	-15.8	-23.5	6.3	6.7	4.2
飲食業	-31.6	-23.8	-39.1	-9.5	1.0	-13.3
サービス業	-7.1	17.6	22.2	22.2	0.0	0.0

### 3 経営上の問題点

企業が抱える経営上の問題点は、  
**「需要の停滞」が37.2%、48社の企業が「利用者ニーズの変化」を24.0%、31社の企業、「販売単価の低下・上昇難」が17.8%、23社の企業が、「人件費以外の経費の増加」が17.8%、23社の企業、「人件費の増加」10.1%、13社の企業が回答している。**

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
第1回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難	新規参入業者の増加 同業者の進出		
第2回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難	人件費の増加 大型・中型店の進出による競争		
第3回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難	人件費以外の経費の増加	新規参入業者の増加	
第4回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難	人件費以外の経費の増加	新規参入業者の増加	
第5回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難	人件費以外の経費の増加	新規参入業者の増加	
第6回 需要の停滞	利用者ニーズの変化	販売単価の低下・上昇難 人件費以外の経費の増加		人件費の増加	



### 《参考》

#### 1. 調査対象

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	13	12	20	24	30	30	129
回答率	86.7%	80.0%	87.0%	80.0%	81.1%	100.0%	86.0%

2. 調査方法 郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)

#### 3. 調査項目

(1) DIの状況について

自社の状況      売上額      資金繰り      採算      従業員数

(2) 設備投資について

(3) 経営上の問題点について

4. 調査期間 平成17年10月1日～平成17年10月7日(10月1日現在で記入)

平成17年7月1日～平成17年9月30日

調査時点は四半期毎に実施。(7月・10月・1月・4月)

## 5. 調査データについて

(1) DI指数：Diffusion Index(ディフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。

各調査項目について、「増加」「好転」したなどとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

(2) データ「本年と前年の数値を対比」

<計算例>

「やや増加」「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」「やや減少」30%  
の場合。  $DI = 50\% - 30\% = 20\%$

## 6. 経営状況DI推移

	経営状況	良い	普通	悪い	DI
第1回	平成16年7月調査	11(14.9%)	30(40.5%)	33(44.6%)	31.0
第2回	平成16年10月調査	18(20.9%)	35(40.7%)	33(38.4%)	23.1
第3回	平成17年1月調査	14(15.6%)	43(47.8%)	33(36.7%)	21.9
第4回	平成17年4月調査	16(18.8%)	43(50.6%)	26(30.6%)	11.8
第5回	平成17年7月調査	18(21.2%)	45(52.9%)	22(25.9%)	6.9
第6回	平成17年10月調査	30(23.0%)	61(47.3%)	38(29.5%)	4.6